

原子吸光分光光度計 (新規設備)の紹介

食品技術部門

平成 20 年度に工業技術総合センター（食品技術部門：長野市）に導入した、原子吸光分光光度計についてご紹介します。この設備は、依頼試験、機器貸付などにより県内企業の皆様にご利用いただくことができますのでご活用ください。

装置概要

金属塩は高温炎に注入すると原子化され、金属特有の波長の光を吸収する性質があります。本装置は、この性質を利用して、食品や飲料に含まれるナトリウムやカルシウムなど、無機成分を定量します。食品や飲料中の金属成分を溶かした希塩酸溶液を高温のバーナーへ噴霧し、そこに測定したい金属が吸収する波長の光を通します。通過前後の光量の変化を測定し、試料溶液中の金属を定量します。

装置仕様

形式：(株)島津製作所 AA-6200

測定モード：フレイム法

波長範囲：190～900nm

ランプ装着数：2本

オートサンプラー付属

測定が可能な元素

用途

Na, Mg, K, Ca, Cr, Mn, Fe, Ni, Cu, Zn, Ag

食品や食品製造用水などに含まれるナトリウム、カルシウム、鉄などの金属成分を ppm オーダーで分析できます。

手数料・使用料（県外事業所は2倍です）

依頼試験手数料（1検体あたり）

測定する金属の種類により料金が異なります。

1 食品

・ Na, Mg, K, Ca, Fe, Cu, Zn 6,800 円

・ Cr, Mn, Ni, Ag 10,000 円

2 食品製造用水など

・ Na, Fe 2,300 円

・ Ca 2,900 円

・ Mg, K, Cr, Mn, Ni, Cu, Zn, Ag 4,800 円

機器貸付使用料

1時間あたり1,400円

詳細は下記までお問合せください。

なお、本設備は、国の平成20年度電源地域産業関連施設等整備費補助事業によって設置されました。

装置外観



工業技術総合センター 食品技術部門
加工食品部 唐沢秀行
TEL 026-227-3134 FAX 026-227-3130
E-mail:shokuhinshiken@pref.nagano.jp